

はじめに

情報メディアセンター長 中尾 浩

情報メディアセンター紀要の第 33 号をお届けします。今回も力作を多数応募していただいた。

2008 年 4 月から 4 年ぶりとなる大規模なシステム更新がスタートする。本学ではおおむね 4 年に一度システムを更新しており、今回も Windows Vista を OS として、Office ソフトも使い慣れた 2003 から 2007 へと変更になる。Vista + Office 2007 の組み合わせは、委員会等で何度も議論した末に決定した。今後 4 年間使い続けなければならないことを考えると、上記の組み合わせでシステムを組むしかなく、他方において XP マシンのシェアの方がまだ多い現時点で最善の選択肢だったと自信を持って答えにくいですが、それだけ技術の進歩は早く、その中で、大学として、時流に流されることなく、情報の本質的な面を教えつつ、なおかつ最新の動向にも遅れないようにすることは容易なことではないと痛感している。

今回投稿していただいた原稿はいずれも最新の動向を踏まえつつ、愛知大学にとって真に必要な情報教育は何かを考えさせるものばかりである。

さらに、2012 年からは新校舎への移転も決まった。今までとはあまりに違いすぎる環境の中で、我々はどのような情報教育をおこなうべきか、どのような情報環境を学生に提供すべきかを限られた時間の中で議論し、それが 4 年後に名古屋の中心部に聳え立つインテリジェントビルの中に結実することになる。それらの議論の場の一つとして、今後とも本誌に積極的な投稿を切にお願いする次第である。